

## 安澤東宏著「大射道」

本書に触れるには、近くの公立図書館でリクエストすることにより、国会図書館から貸出されることが可能である。また、web情報から復刻版の販売を確認できる。

「大射道」安沢東宏（平次郎）十段 著 復刻版 阿波研造門下として研学した七十余年の射業の集大成である。弓道論と習射論に分かれ、弓道論では射とは何ぞ、日本弓道の特殊性等の本質論を語り、習射論では具体的に技術論を語る。また末尾には同門の兄弟弟子であったオイゲン・ヘリゲル博士のベルリンでの弓道の講演が掲載。安沢範士を師と仰ぐ国立弓道場「修倫庵」北島芳雄会長が、安沢範士の33回忌を記念し、昭和45年刊の同書を再出版した。A5版 上製箱入り総頁253頁定価3800円（送料340円）合計4140円「武道通信」発行の杉山穎男事務所へお申し込みください（メール、電話、FAXにて） Tel.042-580-6428 Fax.042-580-6438 また直接、下記三つの方法でご注文くださいとも結構です。

★郵便振替 00120=1=69065 有限会社 杉山穎男事務所〒186-0082 東京都国立市東3-4-8

★銀行振込三和銀行 国立支店（512） 普通3765873 有限会社 杉山穎男事務所 代表取締役 杉山穎男  
(銀行振込の場合のみ、メールか電話でご一報ください) ★現金書留

以下は、「大射道」の表紙裏の数葉の写真とともに目次部分を抜粋したものである。



念願だったヘリゲル博士の墓参を果した先生



安沢範士とヘリゲル夫人。昭和44年9月5日、オイゲン・ヘリゲル博士の墓参の際

垂示

一、常住射程の境界  
に處し第一義諦と  
して射程に見性する  
ことを猛進精進す  
べし

二、一切の縁因を裁断  
して淨裸になる自己  
を莊嚴し射程に表  
現するべし勤行  
不退轉たるべし

三、射程人生を諦觀  
して宇宙の大自然を  
射得して實世相に  
面接すべし

一、常住射程の境界  
に處し第一義諦と  
して射程に見性する  
ことを猛進精進す  
べし

二、一切の縁因を裁断  
して淨裸になる自己  
を莊嚴し射程に表  
現するべし勤行  
不退轉たるべし

三、射程人生を諦觀  
して宇宙の大自然を  
射得して實世相に  
面接すべし

以上 東宏

垂示

垂示、教えを説くこと

常住、悟りの世界の永遠性  
射裡、射の状態にあること  
見性、けんしよう、自己の  
本来の心性を見極めること  
精進、ひたすら仏道修行に  
励むこと

常住射裡の境界  
に處し第二義諦と  
して射裡に見性する  
ことを猛進精進す  
べし

勤行、勤めて仏道修行をする  
不退転、志をかたく保持して  
屈しないこと

諦觀、明らかに真理を觀察  
すること

常住、悟りの世界の永遠性  
射裡、射の状態にあること  
見性、けんしよう、自己の  
本来の心性を見極めること  
精進、ひたすら仏道修行に  
励むこと

勤行、勤めて仏道修行をする  
不退転、志をかたく保持して  
屈しないこと

諦觀、明らかに真理を觀察  
すること

常住射裡の境界  
に處し第二義諦と  
して射裡に見性する  
ことを猛進精進す  
べし

勤行、勤めて仏道修行をする  
不退転、志をかたく保持して  
屈しないこと

諦觀、明らかに真理を觀察  
すること

東宏

以上

弓構え



安沢平次郎先生射形

昭和38年ごろ、三鷹・寂光洞道場にて  
安沢範士十段昇格祝賀射会におけるもの

打起し



大三



会



残心



序	自序
はしがき	先生と私
写真説明	(中野慶吉)
<b>弓道論</b>	
射道精神	射の沿革
日本弓道の特殊性	射の内容
礼の尊重	二七
百発成功的射	三五
弓道の真相観と射の姿	五一
救世の射業	四五
理想の射とその絶対の境地	二七
射道の本質	一七
弓道による修養と教育	八七
敬正なる思想の重要性	九五
射行は個性の表現	一〇五
破邪の射教	九八
仁とは射の如し	一二七
射道の指導方針	一三二
弓道の本質	一三八
射道による修養と教育	一四九
正しき靈智の射	一五三
射道の指導方針	一六〇
射の表現について	一六〇
東宏射訓(一)	一五三
東宏射訓(二)	一五三
射道精神抜萃	一六〇

弓道と禅 (オイゲン・ヘリゲル博士の靈前に詣でて)	一七九
射の実相	一八五
射相の美	一八五
会の運行	一八七
弓道十節解論	一八〇
一、足踏み(開き足)	一九〇
二、胴造り	一九一
三、弓構え	一九一
(取り懸け・手の内・物見)	一九一
四、打起し	一九二
五、大三	一九三
六、引分け(押分け)	一九三
七、会	一九四
八、離れ	一九七
九、残身(残心)	一九八
一〇、弓倒し	二〇一
「オイゲン・ヘリゲル講演」 弓術に就いて	二三九
著者略歴	一四二
「大射道」再出版について	北島芳雄